

## 代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社  
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ひまわりが日に日に背を伸ばすこの頃、皆様

はお元気でしょうか。コロナのPCR検査が進む中、毎日感染者数が大幅に増えています。自粛か経済優先か・・・行先の見えないなか不安ばかりが募るこの頃です。一人一人の気持ちだけは希望を持って過ごしたいものです。

暑さ厳しき折、身体にはくれぐれもお気を付けてください。

## サンライズの物語

### 医療職と介護職

### 同じ立場で利用者様に寄り添う物語



その方は認知機能が低下傾向にあり病院を退院した方でした。高齢の妻と息子さんの三人暮らし。娘さんは他県に住まれており訪問されておりました。

訪問看護、訪問診療が週に何度か訪問していましたが、自宅での生活が少しずつ困難になりつつありました。食事や水分を摂ることが難しくなり同居の奥様も介護負担が大きくなり娘さんが頻繁に訪問していましたが改善には至りませんでした。

そんな中、訪問診療の担当医から突然の連絡があり、在宅での介護量についての相談があったのです。「介護保険サービスの支援内容は余り分かりませんが・・・」との話・・・正直私もケアマネ経験が短くありませんが訪問診療の担当医からの正直で真っ直ぐな相談は初めてでした。

誤解のない上でお話ししますが、たいがい担当医は全て知っていますが何か・・・から始まりません。医療職に介護職が隠してしまい相談できないのが現実です。しかし、その担当医の先生は家族が今困っている事、どんな事が介護保険サービスで補えるのかを聞いて下さいました。地域ケアネットが叫ばれる中、在宅医療と介護保険が同じ立場で利用者様の事を検討できる環境、素晴らしいと胸が熱くなりました。お互いの立場や役割を果たし、ご利用者様に寄り添う介護・・・私達が目指す介護です。



今月は七夕の短冊に各利用者様のお一人お一人の願いを書いて頂きました。おやつはパンケーキ♡力を合わせて作って食べて♡でも、一番は利用者様の笑顔です。どうか弊社のデイサービスを覗きにきてください。

## NEWS 今月のニュース

### 電子書籍貸し出し開始/ おいらせ町立図書館、県内初

おいらせ町立図書館（山下幸子館長）は、来館が困難な町民にも読書に親しんでもらおうと、1日からインターネット上で電子書籍を貸し出す「電子図書館」を始めた。同町によると、県内の公立図書館では初の試みとなる。

電子図書館は、身体的な理由や子育て・介護などで外出が難しい町民が、来館しなくても本を借りられるシステムを作るのが目的。また、電子書籍は文字の拡大など

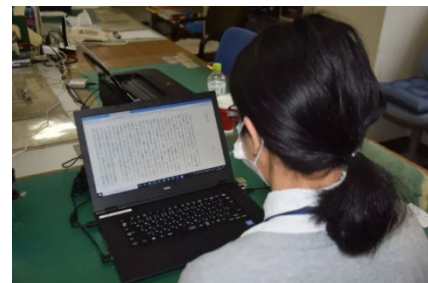
ができるため、高齢者へのサービス拡充にもなる。

利用できるのは町在住者か町内に勤務、通学している人。利用希望者は町立図書館で登録すれば、「おいらせ町電子図書館」のホームページから電子書籍を借りて、パソコンやスマートフォンで閲覧できる。

1回の利用で2冊まで借りることができる。貸出期間は2週間。インターネット環境があれば、24時間貸し出しと返却が可能だ。

電子書籍は現在、小説や実用書、絵本など約150冊分あり、順次充実させる予定。

町立図書館の山下館長は「読みたいときに本が読めて図書館サービスの幅が広がる。積極的に活用してほしい」と利用を呼び掛ける。



<デーリー東北  
2020年7月2日(木)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>